

令和 4年 7月「月報」

1 はじめに

感染者の極端な減少には至らないものの、4回目の予防接種が始まり、感染対策に十分注意しつつ、本来の活動に逐次戻していきたいとの考えのもと、2年連続で10月に延期して実施せざるを得なかった定期総会等を、従前の6月に戻して実施しました。

今般の定期総会で、9年にわたってご活躍いただいた伊藤会長が退任し、後に行われた理事会で、新会長に増田公平氏が選出されたほか、多くの理事や県家族会会長の交代が決議されました。

その後の表彰式では、3年度の成果に対する団体表彰、長年の貢献に対する個人表彰及び感謝状の贈呈を行い、式典は、鬼木誠防衛副大臣他多くの御来賓隣席の下、厳粛に行われました。

2 防衛省・自衛隊の活動

- (1) 岸防衛大臣が6月10日から12日までの間、シンガポールで開催された第19回 IISS アジア安全保障会議(シャングリラ会合)に出席し、11日にはスピーチを行い、12日にかけて、各国国防大臣と会談しました。また、15日にはマールズ オーストラリア副首相兼国防大臣と日豪防衛相会談を実施しました。

統合幕僚長は防衛大臣とともに同会議に参加し、「米国のインド太平洋戦略の次段階」及び「多極化する地域における地政学的競合への対処」をテーマとしたセッションに参加したほか、フィリピン国軍副参謀総長、フランス統合副参謀総長、シンガポール国軍司令官、イギリス第1海軍卿兼海軍参謀総長、豪国防軍司令官及びオランダ参謀総長との2国間会談を実施しました。

陸上自衛隊では、陸上幕僚長が6月13日から16日の間、米太平洋海兵隊司令官と共催で、水陸両用指揮官シンポジウムを開催し、水陸両用指揮官が一同に会して意見交換したほか、中部方面隊第4施設団の隊員をカンボジアに派遣し、能力構築支援として、道路測量教育を行っています。

海上自衛隊では、幕僚長が6月7日、カーク独海軍司令官とテレビ会議を行うとともに、8日から11日の間、ワークショップ2022を主催し、参加27カ国との意見交換を通じて理解を促進しました。

航空自衛隊では、6月10日から17日の間、フィリピンに対する能力構築支援として、フィリピン空軍関係者に対し、航空医学分野に関する招へい事業を実施しました。

これらは、相互理解を促進し、連携を強化して、自由で開かれたインド太平洋の維持・

強化に、寄与することを目的とするものです。

- (2) 新型コロナウイルス感染が落ち着きを見せ、全国各地で新隊員の訓練公開や、記念行事等が行われ始めています。機会を捉えて、各地で家族会が活動しています。

3 家族会の活動

(1) 令和4年度総会、理事会、表彰、式典

6月14日、グランドヒル市ヶ谷において、令和4年度「定期総会」及び第2回理事会を開催するとともに、各県及び本部理事等の表彰を行いました。

総会には、全国から各県家族会会長、理事、監事をはじめ運営委員などの代表者が出席しました。会議等は、ソーシャルディスタンスを保ち、常にマスクを着用し、新型コロナウイルス感染防止対策に留意して行われました。

総会の冒頭、伊藤会長は、ロシアによるウクライナ侵略という、国際秩序に反する暴挙を非難しつつ、検討されている国家安全保障戦略、防衛計画の大綱、中期防衛力整備計画の三文書改訂への期待を述べるとともに、厳しい情勢下、自衛隊家族会こそが隊員の心の支えとして隊員を支援する組織であり、その役割はさらに大きくなると強調しました。また、会長職退任にあたり、昭和30年代から父兄会、家族会でご活躍された方々に心からの感謝と敬意を表して挨拶を結びました。

ア 議案

第1号議案:令和3年度年度事業報告(案)

第2号議案:令和3年度収支計算書(案)
及び「同監査報告書」

第3号議案:任期満了に伴う役員改選(案)

増田公平氏他9名を理事として選任し、
伊藤康成氏他9名が辞任する議案

【全ての議案は全会一致で可決しました。】



議長：神奈川県家族会 小松会長

イ 報告

報告1:令和4年度事業計画

報告2:令和4年度分担金算定結果

報告3:令和4年度収支予算書

報告4:令和4年度資金調達及び設備投資の見込み

報告5:令和3年度「自衛隊の活動支援金」管理運営委員会報告

自衛隊の活動支援基金による平成3年度激励実績及び同年度末現在の支援基金の現況などを報告しました。

報告6:令和3年度「問い合わせ窓口」この一年を振り返って

昨年4月から開始した隊員及び家族（親等）からの問い合わせの件数、内容の分析、相談員の対応と結果、並びに総合所見などを報告しました。

報告7:「自衛隊家族会が行う各種施策への協力推進について」通知の紹介

家族会が、その充実強化のために行う、家族会の組織や活動に関する説明等の活動に協力するよう、各幕僚監部が、部隊・機関に通知したことを紹介しました。

報告 8：家族支援協力に係る航空自衛隊との中央協定締結について

すでに陸海自衛隊と締結していた、隊員家族への支援活動に協力するための中央協定を、今年（7月）末に航空自衛隊とも締結の運びであることを報告しました。

イ 第2回理事会

(ア) 議案

第1号議案：代表理事／会長の後任選任

辞任する伊藤康成代表理事／会長の後任に、増田公平理事を選任する議案

第2号議案：業務執行理事の後任選任

辞任業務執行理事4名の後任を選任する議案

業務執行理事は以下のとおりです。 (敬称略)

業務執行理事（総括）	宮下 寿広	再 任
業務執行理事（総務・事業）	阿部 知己	新 任
業務執行理事（家族支援協力）	田浦 正人	再 任
業務執行理事（会勢）	鍛冶 雅和	新 任
業務執行理事（広報）	森山 尚直	再 任
業務執行理事（活性化）	川又 弘道	新 任
業務執行理事（財務）	小泉 秀充	新 任

第3号議案：副会長の後任選任

辞任する三好貞夫副会長の後任に、荒木肇理事を選任する議案

副会長は下表のとおりです。 (敬称略)

副会長	佃 和夫	再 任
	福岡 絢子	再 任
	宮下 寿広	再 任
	荒木 肇	新 任

第4号議案：事務局長の後任選任

辞任する土谷貴史事務局長の後任に、阿部知己理事を選任する議案

第5号議案：府県家族会長の後任決議

大阪、兵庫、愛媛、大分の各府県家族会長の辞任に伴い、各府県家族会の選出に基づき、それぞれ、新会長を決議しました。 (敬称略)

	辞任会長	新任会長
大阪府家族会会長	山本 卓嗣	松永 信夫
兵庫県家族会会長	村上 昭雄	菅本 秀男
愛媛県家族会会長	三好 貞夫	森川 健司
大分県家族会会長	江藤 勝彦	廣崎 千都志

(イ) 報告

報告 1：運営委員の退任

土谷貴史、櫻木正朋、塚本和重各会員が運営委員を退任する報告

報告 2：代表理事及び業務執行理事の報告

退任業務執行理事を除く各業務執行理事が、今年3月の理事会以降のそれぞれの業務執行状況を報告しました。

ウ 表彰

団体表彰として、鳥取県、神奈川県、栃木県等15県自衛隊家族会を表彰しました。

また、個人表彰として退任県家族会長などの10名を表彰するとともに、辞任した伊藤会長に感謝状を贈呈し、それぞれ長年の労に感謝を表しました。

(ア) 団体表彰

A 総合表彰

- *最優秀賞：鳥取県自衛隊家族会
- *優秀賞：神奈川県自衛隊家族会、栃木県自衛隊家族会

B 活動表彰（以下〇〇県自衛隊家族会を〇〇県と省略して記載）

- *防衛講演会優秀賞：鳥取県、東京都
- *募集活動優秀賞：宮城県、熊本県、鳥取県
- *援護活動優秀賞：新潟県
- *家族支援協力優秀賞：富山県、岡山県
- *おやばと購読優秀賞：宮城県、高知県、千葉県、広島県
- *北方領土返還署名活動優秀賞：栃木県
- *会勢拡大優秀賞：石川県、山口県



表彰記念撮影

(イ) 個人表彰

- *退任愛媛県自衛隊家族会会長：三好 貞夫 様
- *退任栃木県自衛隊家族会会長：小泉 克彦 様
- *退任岡山県自衛隊家族会会長：中村孝太郎 様
- *退任兵庫県自衛隊家族会会長：村上 昭雄 様
- *退任大分県自衛隊家族会会長：江藤 勝彦 様
- *退任札幌自衛隊家族会会長：島村 吉曜 様
- *退任徳島県自衛隊家族会会長：齋藤 忠恒 様
- *退任大阪府自衛隊家族会会長：山本 卓嗣 様
- *退任理事：櫻木 正朋 様
- *退任理事：塚本 和重 様

(ウ) 感謝状贈呈

- *退任自衛隊家族会代表理事／会長：伊藤康成 様

エ 式典

防衛副大臣をはじめとする御来賓の列席の下、式典を開催しました。

増田会長の式辞に始まり、鬼木誠防衛副大臣、折木良一隊友会理事長からご祝辞を、中谷元、宇都隆史 両自衛隊家族会顧問から、それぞれお言葉をいただき、佐藤正久自衛隊家族会顧問、宇都顧問、中谷真一顧問から祝電を頂きました。

ご出席いただいた御来賓は次のとおりです。

防衛副大臣	鬼木 誠 様
防衛大臣政務官	岩本 剛人 様
防衛事務次官	島田 和久 様
統合幕僚長	山崎 幸二 陸将
陸上幕僚長代理 陸上幕僚副長	山根 寿一 陸将
海上幕僚長代理 海上幕僚副長	齋藤 聡 海将
航空幕僚長	井筒 俊司 空将
防衛省人事教育局長	川崎 方啓 様
防衛省人事教育局人材育成課長	玉越 崇史 様
自衛隊家族会顧問	中谷 元 様
自衛隊家族会顧問	宇都 隆史 様
自衛隊家族会顧問佐藤正久様代理	豊田 紀子 様
自衛隊家族会顧問中谷真一様代理	玉木 武彦 様
隊友会理事長	折木 良一 様
日本郷友連盟会長	寺島 泰三 様
朝雲新聞社代表取締役社長	中島 毅一郎 様
全国防衛協会連合会会長佃和男様代理	吉田 浩介 様

(2) 募集協力者会同

6月15日0900～1130の間、陸上幕僚監部主催の募集協力者会同に参加しました。冒頭、陸上幕僚監部人事教育部募集・援護課長 大場智覚1佐のご挨拶に始まり、内局、陸・海・空各幕領監部の施策の説明を受けたのち、自衛隊家族会を代表して福岡県、栃木県、宮城県、札幌の順で「厳しい募集環境に適應するための募集協力における創意工夫」をテーマに、現場の状況と、それをいかに打開して募集～入隊につなげてゆくかを発表しました。自衛隊家族会員相互に情報を共有することはもちろん、内局等にも、家族会の会勢拡大・活動活発化が募集の現場に大きくかかわりを持っていることをご理解いただけたものと思います。

(3) 青森県家族会が自衛官候補生の行進訓練を激励

6月3日(金)、青森駐屯地第5普通科連隊(連隊長 降旗1佐)で実施中の自衛官候補生課程教育(20名)において、教育の仕上げ段階となる25km行進訓練が実施さ

れ、青森市自衛隊家族会が激励しました。この2年間、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から直接の声がけ激励は中止していましたが、今回は野外において間隔をとり、感染防止対策を講じた内容ということで教育隊からの許可を受け、自衛官候補生の家族にも声がけをした結果、8家族19名の候補生家族が参加しました。

教育隊の協力もあり、候補生には事前に知らせず、サプライズ的に大休止地点で横幕やのぼりを掲げて出迎えると、皆、驚きを隠せず、照れくさそうにしつつも、きびきびとした動作で武器や装具などの点検を行い、成長ぶりを示しました。

大休止後、少しの時間、家族との会話が許され、外出や休暇で実家に帰った時とは一味違った中身の濃い触れあいをした後、一層引き締まったで、家族が見送る中を足取り軽く出発しました。



(4) 入間市自衛隊家族会が「入間基地ランウェイウォーク」で自衛隊を広報

6月4日(土)、コロナ禍で中断されていた入間基地恒例行事の「ランウェイウォーク」が、快晴の清々しい天気の中3年ぶりに開催されました。

この行事は、一般公募で選ばれた参加者が、入間基地のエプロン地区を出発点に、長さ2,000mの滑走路(ランウェイ)や誘導路を、ぐるりと一周5kmほど徒歩で歩く(ウォークする)、爽快なイベントです。入間基地初の女性基地司令である「小野打泰子空将補」から開始の挨拶があり、消防車の放水を合図に参加者は次々に歩き始めました。その他、エプロン地区では入間基地所属のC-2やCH-47などの航空機、PACⅢや消防車などが展示され、警備犬の訓練展示や音楽隊の演奏などもあり、全般として見ごたえのある行事でもありました。

埼玉地方協力本部が設置した広報ブースの一角に埼玉県自衛隊家族会の真新しい幟(のぼり)旗を立て、家族会のビブスを着用した地本の隊員の横に並び、ブースを訪れた来場者に自衛隊の広報グッズや募集資料などを手渡すのに併せて、「自衛隊家族会パンフレット」を希望者に配布する形で自衛隊家族会のPR活動も行う事ができました。



令和元年創設したばかりの新生地区会の本格的な初仕事です。